

開催報告

平成 29 年度玉川大学脳科学ワークショップ 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(木村實)

- 平成 29 年度 研究報告会
- 第 23 回 講演会

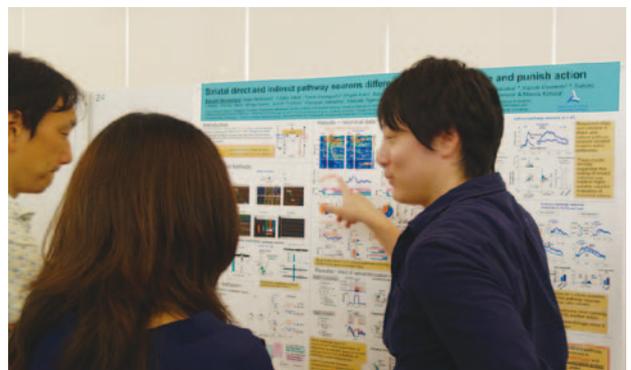
2017 年 9 月 27 日～29 日 石和温泉郷のリゾート旅館 華やぎの章 慶山



私立大学戦略的研究基盤形成支援事業における研究プロジェクトの進捗状況を点検する定例の報告会と併せて、プロジェクト推進のために関連する世界最先端の研究状況を把握し、情報交換を行うために定期的に行っている講演会を拡大して実施し、関連する大学院生が所属する脳科学研究科と共催したワークショップ形式で開催した。最終年のプロジェクト完遂に向けて、今年度は9月に実施した。プロジェクト推進担当者19名と共同で研究をおこなっている大学院生、研究員等と、招聘講師3名を合わせて、総勢49名が一同に会し、濃密な研究討論を行った。

まず、各々の推進担当者のプロジェクトの成果と完了の見込みについて概説し、実際に研究を推進している大学院生や研究員から詳細な研究成果に関する口頭発表を実施し、十分な討論を行った。さらに詳細については2晩に渡るポスターセッションで十分に議論した。概ね計画通りプロジェクトの成果が上がっていることを確認できた。さらに、分子生物学、神経科学、計算理論、心理学、発達科学、人文社会科学まで多岐にわたる推進担当者の専門分野を生かして、様々な視点から改善点を提案することにより、本事業によって形成された基盤をもとに、今後のさらなる発展につながる議論ができた。

また、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の第23回講演会として、3名の講師を招聘した。まず、正林国際特許商標事務所の弁理士である渡辺知晴先生には、研



究者から弁理士になった自身の経験をもとに、弁理士やその他の職へのキャリアチェンジに関するメリット・デメリットの比較や必要な資質について、講演をいただいた。さらに研究を進めながら、得られた知財をどのように守り、どのように社会につなげていくのか、そのメリット・デメリットを具体的な事例をもとに解説して頂いた。本学の研究基盤を支える若い研究者たちのキャリアパスの参考として、また、本学の研究基盤をもとに得られた知財の有効活用をしていく上で、有益な知識が得られた。

京都大学大学院、及びホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパンの島崎秀昭先生は、神経細胞集団活動の統計数理の研究を積み上げ、神経情報処理としての意義を見出してきた研究経歴を、最新の研究成果と共に話し頂いた。神経系の情報処理を探求している本学の





多くの研究者にとって、必須となる貴重な知識が得られた。

山梨大学大学院の喜多村和郎先生には、小脳の研究の長い歴史を概説していただいた上で、未だ不明なことがいかにたくさん残っているか、そして、それにアプローチすることができる手段が今、得られつつあり、今後、大きな発展が見込めることを、自身の最新の研究成果と共にお話し頂いた。歴史的に確立しているかのように見える対象でも、真摯な眼でみつめれば、探求すべき真実が埋もれていることがわかる、そんな研究姿勢を見せていただき、今後の我々の研究指針の見本となる有意義な講演会となった。

最後に、本事業の取りまとめを担当している松田教授

が本事業5年間の成果の総括を行い、代表の小松所長から本基盤をもとに研究を発展させる今後の展望を表明し、ワークショップをしめくくった。



最優秀研究賞	アラン ホドリゲス
優秀発表賞	相馬 祥吾、 リオス ダビラ アライン
ベストアピール賞	須田 悠紀
奨励賞	根本 太晴、川端 政則、 吉村 麻美



9月27日(水)

〈Opening Remarks〉 小松 英彦 (脳科学研究所 所長)
 擬似ピアレビューの概要 酒井 裕 (脳科学研究所)
 〈Flash Talk for Laboratory Introduction〉
 相原 威 磯村 宜和 岩田 恵子 宇賀 貴紀 大森 隆司
 梶川 祥世 小松 英彦 酒井 裕 坂上 雅道 佐々木 哲彦
 高岸 治人 原野 健一 松田 哲也 松元 健二
 〈Oral Session〉
 禹 明香 (脳科学研究科 M1 佐治研究室)
 Relationship between infant vocabulary memory and language prosodic information
 蔣 嘉森 (脳科学研究科 M1 坂上研究室)
 Previous research and future research projects about inferences
 杉本 裕樹 (脳科学研究科 M1 鮫島研究室)
 Switching mechanism between goal-directed and habitual behavior
 根本 太晴 (脳科学研究科 M2 岡田研究室) / Chair: 磯村
 Estimation of emotion from text by distributed representation
 川端 政則 (脳科学研究科 D1 磯村研究室) / Chair: 坂上
 Distinct distribution of sensori-motor information in rodent cortices
 吉村 麻美 (脳科学研究科 M2 梶川研究室) / Chair: 松元
 The effect of music on maternal soothing and infant responses
 〈Special Lecture I〉 【私立大学戦略的研究基盤形成支援事業第23回講演会】
 渡辺 知晴 (正林国際特許商標事務所)
 研究者からのキャリアチェンジについて (知財業界のご紹介)

9月28日(木)

〈Oral Session〉
 Alain Rios Davila (脳科学研究科 D3 磯村研究室) / Chair: 小松
 Loss of laterality for forelimb-movements in motor cortex in a hemiparkinsonian rat model
 仁科 国之 (脳科学研究科 D2 坂上研究室) / Chair: 松田
 Genetic foundation of prosocial behavior
 八木下 明宏 (脳科学研究科 M2 岡田研究室) / Chair: 酒井
 Study on Time Delay Compensation of Tele-Existence System Using Mixed Reality Display
 〈Special Lecture II〉 【私立大学戦略的研究基盤形成支援事業第23回講演会】
 島崎 秀昭 (京都大学大学院 / ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン)
 神経細胞集団活動の統計数理
 〈Oral Session〉
 相馬 祥吾 (脳科学研究所 PD 磯村研究室)
 Distinct laterality in forelimb-movement representations in cerebral cortical areas
 松本 良恵 (脳科学研究所 PD 高岸研究室)
 Punishment in the Second-party Punishment Game As Aggression
 石原 暢 (脳科学研究所 PD 松田研究室)
 Effects of tennis play on executive function in children
 金成 慧 (脳科学研究所 PD 高岸研究室)
 Effect of spatial structure defined by binocular disparity with uniform luminance on lightness perception
 田中 慎吾 (脳科学研究所 PD 坂上研究室)

Estimating the spatial and temporal distribution of value information in the multiple areas of the macaque prefrontal cortex by decoding from the ECoG signal
 田中 大貴 (脳科学研究所 PD 松田研究室)
 An Intention Signaling Strategy for Indirect Reciprocity: Theoretical and Empirical Studies
 石黒 千晶 (脳科学研究所 PD 岡田研究室)
 Students' Change of Eye Movements in art viewing through Art Education
 〈Flash Talk of Poster Session〉
 飯島 和樹 (脳科学研究所 PD 松元研究室)
 小口 峰樹 (脳科学研究所 PD 坂上研究室)
 梶村 昇吾 (日本学術振興会 SPD 松元研究室)
 神代 真里 (脳科学研究所 PD 鮫島研究室)
 須田 悠紀 (脳科学研究所 PD 松元研究室)
 高橋 宗良 (脳科学研究所 PD 松田研究室)
 田坂 源之助 (工学研究科 M2 相原研究室)
 野々村 聡 (脳科学研究所 PD 磯村研究室)
 布山 美慕 (脳科学研究所 PD 岡田研究室)
 藤井 貴之 (脳科学研究所 PD 松田研究室)
 松森 嘉織好 (脳科学研究所 PD 松元研究室)
 宮田 真宏 (工学研究科 D2 大森研究室)
 吉田 純一 (脳科学研究所 PD 磯村研究室)
 Alan Rodrigues (脳科学研究所 PD 坂上研究室)

9月29日(金)

〈Oral Session〉
 鮫島 和行 (脳科学研究所)
 価値に基づく意思決定からコミュニケーションにおける意思決定へ: 最近の挑戦
 高岸 治人 (脳科学研究所)
 Preschoolers judge prosociality from facial expressions of women but not men.
 佐々木 哲彦 (学術研究所)
 ミツバチが獲得した社会性の分子基盤.
 〈Special Lecture III〉 【私立大学戦略的研究基盤形成支援事業第23回講演会】
 喜多村 和郎 (山梨大学大学院 総合研究部)
 古くて新しい小脳回路研究
 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 (木村 實) 総括
 成果報告 松田 哲也 (脳科学研究所)
 今後の展望 小松 英彦 (脳科学研究所 所長)